

不祥事防止研修会実施報告

学 校 名	三次市立三次小学校
研修テーマ	「人間は誰でも過ちを犯し得る」という立場から、全ての教職員がその自覚を持ち、自らの弱さを克服するために必要な事項について脳科学や社会心理学など複数の分野の文献や有識者の意見等をもとにまとめ、教職員による不祥事の根絶に努める。
研修担当者	生徒指導部
研修日時	令和4年7月7日(木) 14:55～15:45
参加人数	26名
実施形態	ロールプレイ・協議
使用資料等	■「教職員による不祥事の根絶(増補版)平成28年8月」
研修の概要	(1) 自らも過ちを犯し得る存在である (2) わいせつな行為等に至る要因 (3) 自らの弱さを克服するために (4) わいせつな行為等を防止する職場環境づくり ※ロールプレイ(事例検討) ・児童が着替え中の教室でタブレットを使用した例 ・同僚の異性の教諭を誘い、車中でセクハラ事案が発生した例
研修を終えての 気付き等	○自分の弱さを自覚し、リスクやストレスを感じないゆとりのある生活を送りたいと思います。 ○誰でも過ちを犯し得ることやその要因について考え直すことができました。ロールプレイングをすることで、事案について深い考察ができました。これから自分の弱さやストレスを認識をし、対処法を実践することで不祥事を起こさないようにしたいです。 ○自分の意図に反して相手に不快な思いをさせているかもしれないという自覚を持つことができました。 ○研修を受けるたびに「自分はどうなのか?」と振り返って考えることができる。風通しのよい職場環境を築いていかないといけないと思う。そのためには、少数職種や人数が少ない立場の人にも考慮したい。 ○自分の行動が子供を傷つけることがないか考えて行動する必要があると思います。